

《令和4年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

令和5年3月 末日 現在

部署名	P 実施計画				実施管理(年度末まとめ)				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期(予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	次年度への改善内容
診療情報管理室	県内の院内がん診療情報を収集・分析する体制整備(院外:都道府県がん拠点病院の役割)	1. 指定要件として、今年度は2020年と2021年症例のがん登録数と治療の情報収集を行い、部会で承認を得た上で協議会ホームページで広報する 2. 様式や多重癌ルール改訂に伴い登録に困っている実務者が多い 3. 実務者が相談できる場が少ない	【院外業務】 1. 2020年および2021年症例の県内がん登録部会の登録数と3大がん(大腸・肺・胃)治療法の収集と協議会のホームページに広報を行う(内容は各病院の実務者と検討する) 2. 年に2回 院内がん登録実務者ミーティングを開催し、研修や統計活用などを通し実務技能の習得、登録精度向上を目的に持ち回り当番病院と連携して会の企画・運営を行う ・第1回 令和4年11月 予定(講義形式Zoom予定)(当番) 姫路医療センター テーマ: 膵臓・胆嚢・胆管の解剖、UICC TNM病期分類について 講師: 国立がん研究センター 江森氏 ・第2回 令和5年2月 予定(情報活用Zoom予定)(当番) 兵庫医科大学病院 テーマ: 2020年および2021年症例の公表統計作成 3. 実務者有志のメーリングリストを活用し県内実務者の相談支援を行う	令和5年3月	△	概ね達成	1. 兵庫県がん登録情報として「2020年症例の院内がん登録施設別部位別登録数と3大癌治療数を48病院より収集し統計作成した 第2回実務者ミーティングで報告・検討し協議会承認を得て兵庫県がん診療連携協議会のホームページで広報した 2. 実務者ミーティング2回の企画・運営を以下の通り当番病院と実施した ・第1回 がん登録実務者Zoomミーティング 11月14日開催 65病院 136名参加 テーマ: ①膵臓・胆嚢・胆管の解剖 ②UICC TNM 病期分類 ③演習問題と解説 ④事前質問回答 当番: 姫路医療センター(司会) 講師: 国立がん研究センター 江森氏 ・第2回 がん登録実務者Zoomミーティング 2月3日開催 40病院 75名参加 テーマ: ①2020年登録数と治療法案検討 ②院内がん登録運用マニュアルに沿った運用体制などの状況調査の結果報告・課題検討(GW実施) 当番: 兵庫医科大学病院(司会) 3. 県内外実務者電話orメール相談対応22件	継続	1. 部会で承認された2021および2022年症例の兵庫県院内がん登録の収集と広報を行う 2. 県内持ち回りの当番病院と協力し年2回(11月、2月)院内がん登録実務者ミーティングと事務局会議を開催し、令和6年度以降の当番病院の検討やがん登録実務者の知識向上、情報共有等を図る 3. 実務者相談対応で不明な点は、国立がん研究センターへの問い合わせや最新の情報共有・SNS質問回答把握等をしながら支援していく
	がん登録実務の精度向上(院内)	1. がん登録実務者の認定および4年毎の更新試験が実施され、国や患者が求めるがん登録実務者の技能向上が求められている 2. 指定要件「院内がん登録データを活用し、登録数や各治療法をホームページにて広報すること」が示されており、院内がん登録の集計・分析技能の向上が求められている 3. がん登録のオンライン届出は、セキュリティ対応や品質管理チェックが登録改訂などに伴い作業が難しくなっている 4. 全国がん登録情報(死亡)還元に必要な部署のセキュリティ対策が整備できていない	【院内業務】 1. 登録の精度を上げるために国がん主催の研修に参加し、4年毎の初級・中級認定更新合格を目指す 2. 国がんの公表時期に合わせ自施設ホームページの2021年症例のデータ更新を目指す 3. 院内がん登録・全国がん登録の届出が1本化に変更されるため国立がん研究センターの提示する届出方法を理解し安全に期限内で届出を行う(7月4日~8月5日) (登録システムの変更に伴いエラーチェックなど早めに行う。エラーなどが生じた場合は、国がんや登録システムSEへ問い合わせ協力依頼する) 対応できることであれば他病院の相談窓口となる 4. 運用管理規程に沿ってセキュリティ対策を行い2016年症例5年予後還元を受けられる	令和5年3月	○	達成	1. 今年度は、1名が中級者認定更新試験に合格し、他中級認定者2名と初級認定者2名も国立がん研究センター主催の研修に参加し、日々の登録に反映している 2. 広報として自施設のホームページに2017~2021年の部位別がん登録と主要ながん9部位の治療などの5年統計を更新した 3. 今年度からGTS機能を使用する届出方法(院内がん登録・全国がん登録の届出の1本化)に変更となり、システム管理室のサポートを受け2021年診断症例3,543件は、期限内に院内・全国がん登録同時届出が行えた 4. 運用管理規程・セキュリティ対策に沿って入退室記録などセキュリティ強化を継続し今年度は、全国がん登録死亡情報還元対象の2,016年症例5年生死還元が延期となっているため申請を来年度に行うこととした	継続	1. 次年度も登録の精度を上げるために国がん主催の研修に参加し来年度は中級認定合格1名を目指す 2. ホームページの最新データ更新を行う 3. 国立がん研究センターの指示する届出方法を理解し安全に期限内で届出を行う(7月3日~8月4日) 4. 運用管理規程に従いセキュリティ対策を行い2016年症例3年予後還元が受けられる

(注)実施管理・区分欄の記入について

C 評価における区分は、「達成」「概ね達成」「未達成」から、A改善における区分は、「完了」「継続」「その他」から、それぞれ1つ選んで記入する。
D 実行欄には、達成度等を考慮して、○、△、× を記入する。